

第3回TRIZシンポジウム

— TRIZ Symposium 2007 in Japan —

(2007年8月30日～9月1日、於：東芝研修センター、新横浜)

開会にあたって

2007年8月30日

日本TRIZ協議会
代表 林利弘

TRIZ協議会発足に至る経緯

- TRIZツールベンダー系列を超えての交流が欲しい。
- 学会に準じた公的発表と見做される場が欲しい。
 - ・ TRIZの社会的認知のため
 - ・ TRIZに関連する広範囲かつ客観的な議論の場として
 - ・ 日本からの対外発信をする中立的な場として
- TRIZ関連業界への支援・連携が有益
 - ・ 有益ツールの日本語化についてのユーザニーズや意見の反映。
 - ・ 有益図書の翻訳発行と適切価格設定。(成果：Matrix2003の廉価価格設定)

2004年5月：TRIZ懇話会スタート、
2005年1月：TRIZ協議会へ発展

「日本TRIZ協議会」の組織概要

名称： 日本TRIZ協議会

組織形態： 公益・非営利の任意団体

(TRIZ活用・推進関連組織からの有志による個人参加)

代表および幹事：

代表	林 利弘	(林 技術士事務所 (元(株)日立製作所))
副代表	三原 祐治	(創造性工学研究所 (元(株)富士フィルム))
幹事	中川 徹	(大阪学院大学)
幹事	小西 慶久	
幹事	黒澤 慎輔	(産業能率大学)
幹事	堀田 政利	((株)創造開発イニシアチブ)

運営委員会メンバー：上記のほか10名

事務局：

所在地：〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-3 第二森ビル4階

TEL：03-5647-8982 FAX：03-5777-8818

E-mail：info@triz-japan.org (2007年9月2日より)

第3回TRIZシンポジウム (07/08/30-07/09/01)

3

「日本TRIZ協議会」の趣旨

1. 日本におけるTRIZの普及・推進を図るための連携・協力組織。
2. 日本におけるTRIZの普及・推進に関わっている各種組織から、本会の趣旨に賛同する個人が集まり協議体を構成。
3. TRIZ協議会の活動は、参加者の自発的な意志。
4. シンポジウムなどの公的な活動と交流の場の提供を行い、TRIZに関心をもつ人々 (ユーザ、研究者、教育関係者、公益団体関係者、ツール開発・提供者、出版関係者、コンサルタント、その他) からの参加を得る。
5. 一年程度の準備期間を経て、産業界・学界・官界などからの法人参加および個人参加を得る「日本TRIZ協議会」の設立を期する。

日本TRIZ協議会のこれまでの活動

1. TRIZシンポジウムの準備・開催

- 2005年9月：第1回開催（伊豆修善寺）
- 2006年8月：第2回開催（大阪吹田 パナヒルズ大阪）
- 2007年8月：第3回開催（新横浜 東芝研修センタ）

2. 研究会の開催

- ・知財創造研究分科会（2007年4月スタート）
- ・ビジネス・経営TRIZ研究分科会（2007年5月スタート）

3. NPO法人「日本TRIZ協会」発足準備活動

- ・2007年4月都庁申請，8月再申請

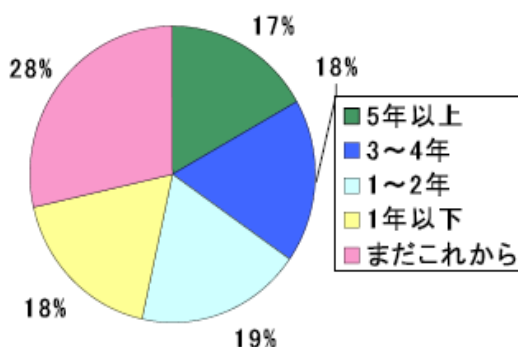
4. NPO法人 日本TRIZ協会 活動基盤整備

- ・専用事務所開設(港区浜松町, 2007年3月)
- ・専用ホームページ（<http://www.triz-japan.org/>）立ち上げ
(2007年10月運用開始予定，現在,仮運用中)

第3回TRIZシンポジウム（07/08/30-07/09/01）

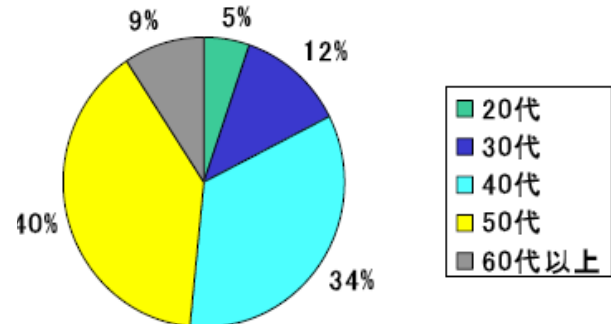
5

第2回TRIZシンポジウムアンケートより (1)



1年以下が半数！

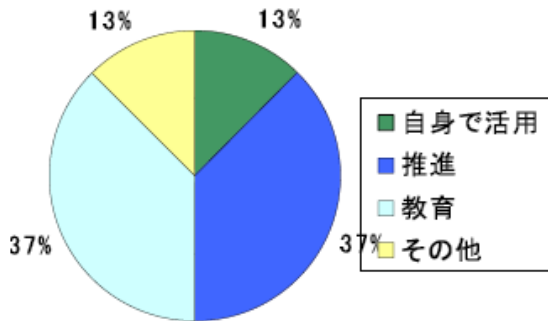
TRIZ活用経験



若い世代の参加を期待！

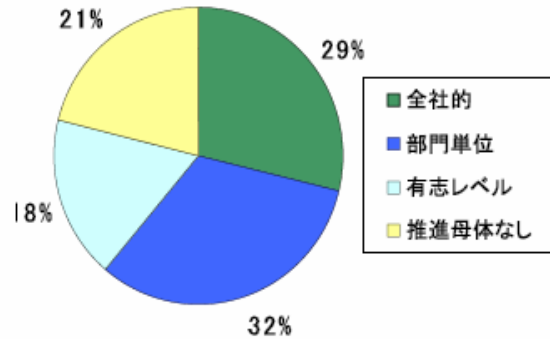
年齢分布

第2回TRIZシンポジウムアンケートより (2)



教育・推進関係者が75%!

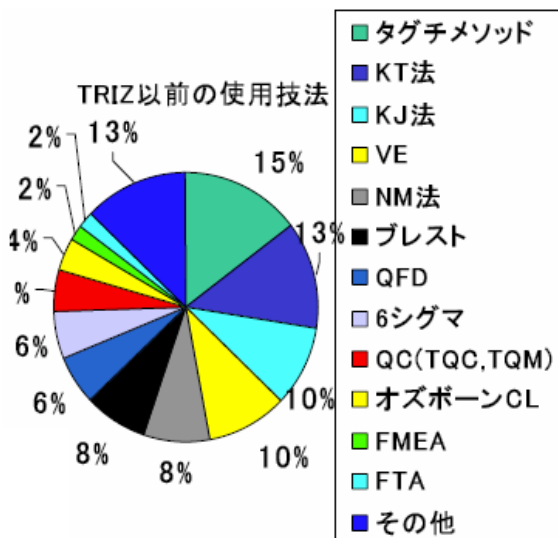
TRIZへのかかわり方



組織的推進は約60%!

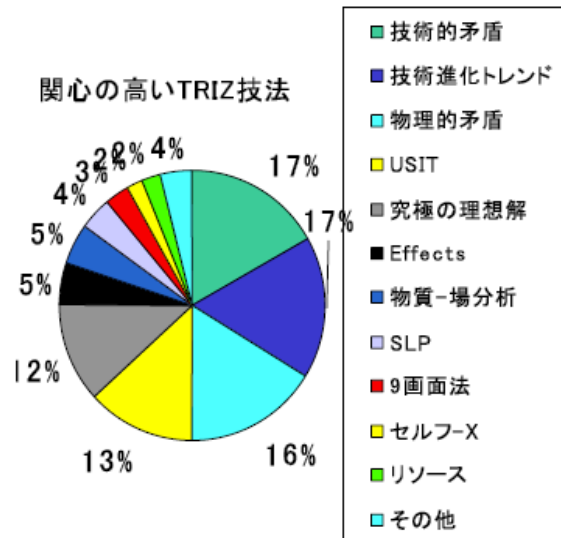
TRIZ推進方法

第2回TRIZシンポジウムアンケートより (3)



種々の技法の経験あり!

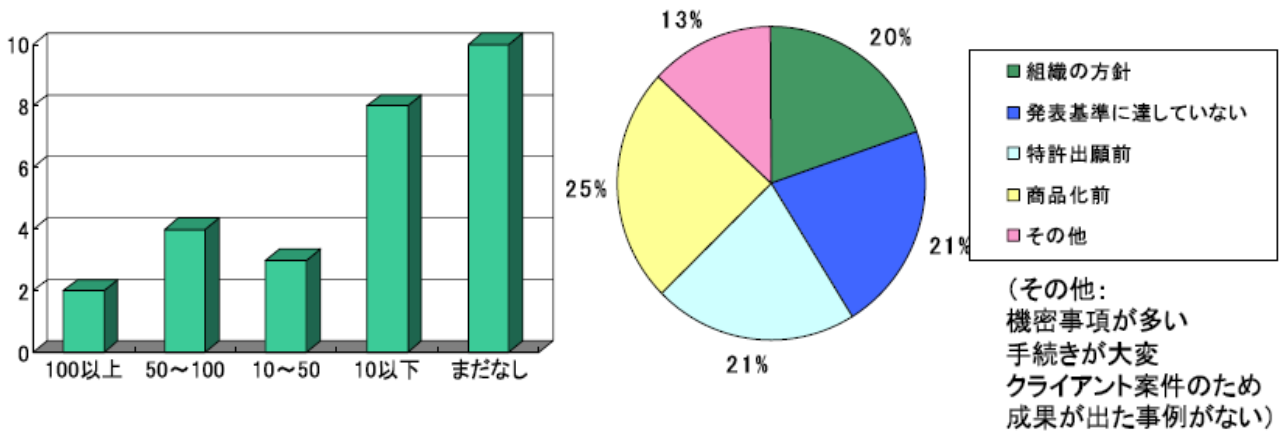
TRIZ以前の使用技法



関心の高いTRIZ技法

17+17+16=50%!

第2回TRIZシンポジウムアンケートより（4）



TRIZの適用件数

事例を公表できない理由

第3回TRIZシンポジウム（07/08/30-07/09/01）

9

第3回TRIZシンポジウム企画にあたって

- 1) TRIZ関係者交流の場の良さを取り入れながら、発表論文は広範囲のテーマ（活用法、技法論、適用事例、推進法など）を海外を含めての公募形式とする。
- 2) 講演形式と個別的な深い議論を行えるポスター形式の発表を昨年に引き続き取り入れる。また、多くの発表の場とフォーカスした聴講の場を両立させるためにパラレルセッション形式を導入。
- 3) 前回の参加者の要望を反映し、今回は2つのチュートリアルセッション（ベーシック&アドバンスト）を用意。

第3回TRIZシンポジウム（07/08/30-07/09/01）

10

第3回TRIZシンポジウム招待講演

基調講演1: Hierarchical TRIZ Algorithms
-Dr. Larry Ball, Honeywell, USA-

基調講演2: Variation of System Properties for New or Improved Functions
-Dr. Simon Dewulf, CREAX, Belgium -

特別講演1: 開発・設計プロセス工学技術とTRIZ

-開発・設計技術者のためのMOT手法-
-林 技術士事務所 林 利弘氏-

特別講演2: 知識経済社会に対応した新しい知的財産モデルの提唱

-知財によるブランド価値創造モデル-
-松下電器産業半導体社 玉井 誠一郎氏-

特別講演3: 東芝におけるイノベーション活動紹介

-シックスシグマ、タグチメソッド、QFD、TRIZ など各種手法の東芝での活用状況紹介-
-東芝 奥住 直明氏-

第3回TRIZシンポジウム (07/08/30-07/09/01)

11

第3回TRIZシンポジウム発表者・参加者

		第1回		第2回		第3回(今回)		
論文発表者	国内	大学	大阪学院大	1	大阪学院大(2),中京大,京大,山口大,神奈川工大	6	大阪学院大,京大,都立大	3
	国内	一般企業	日立製作所(3)松下電器,松下電工,富士フィルム,富士ゼックス,日産自動車,川崎重工	9	日立製作所,松下電工,富士フィルム,エミルタ,NEC,東芝ソコパ,パナソニック,日東電工,東亜DKK,効ノ	10	日立製作所,東芝,松下電器,日立GST,エミルタ,東芝ソコ,松下電工,積水インジニアリング,パナソニック,デュニタ	10
	国内	個人ほか	個人,佐野国際特許事務所	2	個人,佐野国際特許事務所	2	個人(2)MRA知識創造研究会,DPAM研究会,アテアマソノ研究所,林技術士事務所	6
	国内	サービス提供者	三菱総研,産能大,創造開発センター,アテア,パットブレン	5	産能大(2)創造開発センター,アテア,アテア,パットブレン	5	産能大(2)アテア(2)パットブレン	5
	海外	海外	米国,EU,韓国	3	米国(3)EU(2)台湾(2)韓国,インド,ロシア,中国	11	EU(3)韓国(3)米国(2)ロシア(2)	10
	計		20		34		34	
チュートリアル							産能大,パナソニック	2
参加者*	企業ユーザ		71		94			137
	教育・研修		9		43			42
	ツール・ソフトウェア		15		2			1
	その他(知)		9		8			10
	計		104	(最終的には157名)	147			190
* 講演者含む							2007年8月20日現在	

第3回TRIZシンポジウム (07/08/30-07/09/01)

12

第3回シンポジウム準備会メンバー

林利弘 (林 技術士事務所)
三原祐治 (創造性工学研究所)
黒澤慎輔 (産業能率大学)
小西 慶久
中川徹 (大阪学院大学)
堀田政利 (創造開発仁テック)
正木敏明 (日東電工)
片岡敏光 (パットブレン)
池田和康 (積水インダストリアル)
長谷川公彦 (佐野国際特許事務所)
海野誠 (川崎重工)

前古 護 (アイデア)
水野 栄一 (エム・アール・アイ
リサーチアソシエイツ)
奥住直明 (東芝)
玉井誠一郎 (松下電器産業)
岡 建樹 (コニカミノルタ
ビジネステクノロジーズ)
仲畑光蔵 (日立製作所)
横山和正 (東芝)
後藤一雄 (リコー)
高田由利子 (日本TRIZ協議会)

【順不同、敬称略】

第3回TRIZシンポジウム (07/08/30-07/09/01)

13

ご清聴ありがとうございました

新しい組織「日本TRIZ協会」の活動への
会員の皆様の積極的な参加とご支援により、
今後、日本におけるTRIZに関する
一層充実した活動が行えることを期待しています

第3回TRIZシンポジウム (07/08/30-07/09/01)

14